

INSIDE FRONTEND

#2

- SEMINAR Timetable -

セミナー A (セミナールーム 2)

13:20

Vary ヘッダとキャッシュバリエーションの将来

Vary ヘッダを正しく利用することでより効率的にコンテンツをキャッシュすることが可能になる。今回、Andrew Betts 氏が Vary の正しい使い方と新しい仕様である key との両方について詳しく解説。※本セッションは英語によるセッションとなります。(日本語字幕スライドつき)

 @triblondon

13:50

現場の ES201x とアーキテクチャの変遷と未来

フロントエンド激動の時代を経て、キャッシュアップに苦しむ現場や、経年劣化に苦しむプロダクトなどが散見されるようになりました。ここ 10 年のアーキテクチャの変遷を振り返り、次の世代に何を見定めるべきか明確にします。

 @mizchi

15:00

コンポーネント TDD の実践から見えたもの

React・Vue のプロジェクトにおけるコンポーネントの TDD の実践方法とコツ、実践して見えたメリットや課題感について話します。

 @pirosikick

16:10

日経電子版を速くするためにやっていること

日経電子版を速くするために何をしているかについて話します。Fastly の活用やキャッシュ制御、Service Worker などがトピックになりますが、主に現場でどうがんばったかについて一歩突っ込んで話せたらと思います。

 @sisidovski

17:20

micro-benchmarking is hard

ベンチマークはアプリケーションの評価を行う上で最も根幹となるものであり、そのため、ベンチマーク自身の有用性は常に議論されるところである。このセッションではマイクロベンチマークが容易に本来の意味を見失うということを JS VM の実例をもって示す。

 @saneyuki, ゲスト

セミナー B (セミナールーム 1)

freee のアクセシビリティ、いまとこれから

FinTech・HRTech の分野で快進撃を続ける freee のプロダクト、アクセシビリティ観点では今どうなっているのか? 社員自らがアクセシビリティチェックした結果と、考えうる解決策について考察します。

 @magi1125

「規約に同意」の UX

FOLIO をはじめとする金融機関では、口座開設の際、膨大な書類に目を通し、同意をしてもらわなければなりません。たかが「規約に同意」という 1 ページの話ですが、いかにユーザーに「面倒そう」と思われないような UI を実現したのか、その変遷についてお話をします。

 @pika_shi

攻めつづける FRESH! の Web ver. 新春

FRESH! では昨年に Service Worker を用いたユーザビリティ、パフォーマンスの改善を進めました。今回は新たに Payments Request API を使った機能実装や、React v16 対応、E2E テストなどの話をします。

 @sutiwo

動的デザインガイドのつくり方

サービスとして一貫したデザインを保ち、継続的にアップデートしていくためには、意図を簡単に実現するシステムが必要不可欠です。AtomicDesign を念頭に、ReactStoryBook 等で実践されている動的デザインガイドラインを生成する仕組みと、実際にサービスに導入して実践するまで(と说得方法)を、GYAO! の Web 刷新の実例を交えて示します。

 @narirou

デザインシステムとコードを密結合するワークフロー

デザインと開発実装を同時並行で進めつつ、いかに統制がとれた状態を維持していく為に行った事の紹介と運用のデモを行いたいと思います。UI の作り込みに工数を注ぎやすくする方法論の一つになります。

 @oligin020

CLOSED